

白内障手術が無事終了しても、術後の見え方に不満が残る患者さんがいらっしゃいます。不満の原因は、術後の新しい見え方に慣れないという事と、緑内障等、白内障以外の眼疾患による症状が白内障手術後も残存する事によります。Aさんには残念ながらその二つの理由が同時に存在し術後の大きな不満となってしまいました。主治医であった私自身もたいへん残念に思っております。

多数の白内障手術を行う当施設において、術前に白内障以外の眼疾患がないかどうかを詳しく調べることはたいへん重要な事であり、様々な医療機器を用いて診断できるような体制を整えております。Aさんの場合も術前に緑内障性視野変化があることをお示し術後も見にくいところが残る事をお話していましたが、その説明がAさんに十分理解される程伝わっておらず、結果として、術後に大きな不安と不満をご本人に感じさせてしまった事は手術を担当した小生の責任であり、自身の力不足を感じ、たいへん反省しております。この場をかりてAさんに謝罪したいと思います。

医療、特に手術医療に関しては患者さんの十分な同意を基に行われるべき事はオンブズマンの方々のご指摘を受けるまでもなく当然の事と考えておりますが、Aさんの事例を経験しさらにその体制を整備していかなければならないと痛感いたしました。具体的には白内障以外の重篤な眼疾患を合併すると思われる手術希望者には特別な手術希望書（添付文書1）をお渡し、同意していただく事を既に始めました。また通常の白内障手術説明同意書もその内容を大幅に改定（添付文書2）いたしました。しかし白内障のため、他の眼疾患の正確な診断が困難なことは日常臨床では多々あります。また術前に緑内障等の合併症を診断できた場合でも、それが患者さんの術後の見え方へのどの程度深刻な影響を与えるかを予測するのはたいへん困難です。

多くの白内障手術患者さんが視機能回復により生活の利便性を改善されるなか、今回の右眼白内障手術はAさんにとって大きな不満の残る結果となってしまいました。本当に申し訳なく思っております。

平成22年12月10日

手術希望書

あなたは、白内障手術によって、治癒させることができない以下の眼疾患を合併しています。

このため、白内障手術後の視機能回復の程度はさまざまです。手術が無事成功しても、ご本人が期待されている見え方まで回復しない可能性もあります。

それを十分に納得、同意の上、手術をご希望ください。

- ・ 緑内障
- ・ 黄斑変性症
- ・ 網膜上膜形成症
- ・ 糖尿病網膜症
- ・ 眼底出血
- ・ 網膜色素変性症
- ・ 角膜白斑
- ・ 高度近視

上記記載事項に納得、同意の上、白内障手術を希望いたします。

平成 年 月 日

ご本人署名

ご家族署名

添付文書 2

(改訂前白内障手術説明同意書)

白内障以外の眼の病気（網膜や視神経の病気など）があると、視力が十分に出ないこともあります。

(改訂後白内障手術説明同意書)

白内障の濁りが強いと、白内障以外の眼疾患の診断が困難になってきます。

白内障以外の目の病気（角膜や網膜・視神経の病気など）があると、期待した視力の回復が得られないこともあります。

これらの病気がある方は白内障の濁りがなくなる事で、今までご自身でも気づかなかったような他の眼疾患による症状を感じる場合があります。

例・硝子体混濁による飛蚊症

- ・網膜疾患による像のぼやけやゆがみ
- ・両眼視異常による複視（両眼で見ると物が二つに見える）
- ・眼瞼下垂や緑内障による視野狭窄（視界の中に見にくい部分が現れる）